

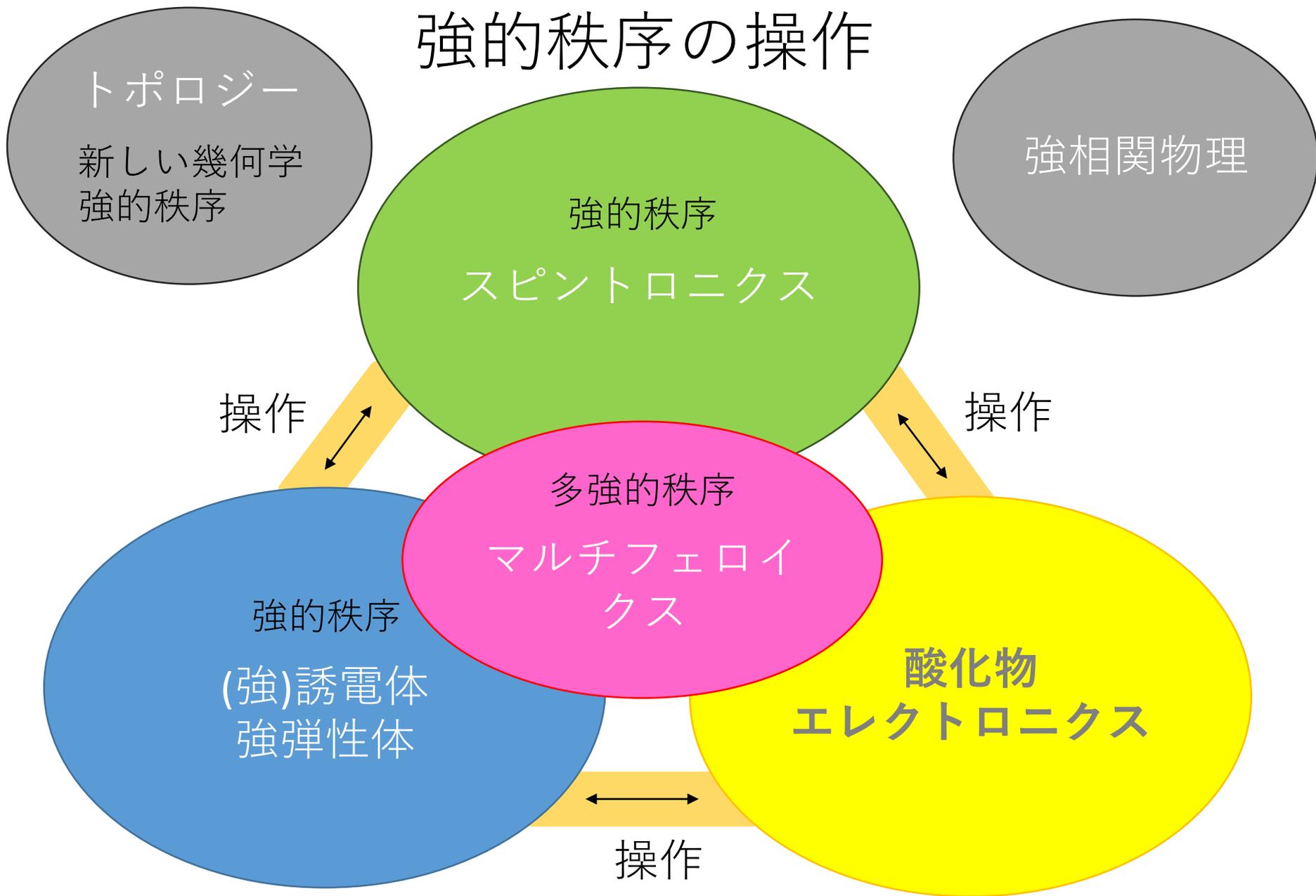
## STAP 企画

# Manipulation of multi-degree of freedom in ferroic-ordering

## 強的秩序とその操作に関わる研究グループ

2015年9月1日に発足した「強的秩序とその操作に関わる研究グループ」では中分類分科名10. 1-10. 5 **スピントロニクス・マグネティクス**、6. 1 **強誘電体薄膜**、9. 1 **誘電材料・誘電体**、6. 3 **酸化物エレクトロニクス**の境界・融合領域における新しい研究を議論する場が応用物理学会内にはなかったため、本グループはその新しい研究領域を支援することを目的として、若手を中心に設立しました。

# 強的秩序の操作



通常号企画特集の意義：

セッションの垣根を越えた融合領域が創出され、新しい研究成果が芽生えている

# STAP企画の必要性と意義

## 「Manipulation of multi-degree of freedom in ferroic-ordering」

- ①：本グループでは年に2回の定期研究会および臨時研究会を開催し、境界領域における研究を支援してきました。これまでの活動を通じて分野間の垣根を越えた共同研究も増え、現時点で既に成果を**通常号企画特集へ集約する必要性**が生じている。
- ②：学術分野の細分化により特定分野の専門性は高くなったが、分野間の境界領域の研究が創出されても各専門分野で独立した議論となる傾向が強く、学術的に重要な事柄を見逃す、または誤って理解する傾向にある。従って、正しく応用物理学を発展させるためにも、**同じ土俵で異なる専門家が議論する必要性**がある。
- ③：本グループ内の互いの研究分野をよく知る上でも研究内容を各々の独自の分野での切り口からまとめることにより**融合領域での共同研究をさらに促進**させることが期待される。